

科目名 Course Name	こころとからだのしくみⅢ Physical and Emotional Mechanisms III			ナンバリング No.	J1-014		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	小竹 仁美						
連絡方法	C-Learning で対応。または本館2階研究室。オフィスアワーは初回授業時に説明。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP1 DP2						
授業の概要と到達目標	この科目は「こころとからだのしくみ」のうち、主に心理的側面を扱う。心理学の基礎的理論や心理学の諸領域、コミュニケーション、集団行動、ストレス等について、人の心の理解と人にかかわるための基礎理論の習得を図る。 ① 自己理解と他者理解のための心理学基礎理論を学び、自己や他者を理解する方法を身につけることができるようにする。 ② グループ活動体験を通してコミュニケーションの取り方を学び、援助職として必要な態度をとることができるようにする。 ③ ストレスマネジメントの方法を身につけることができるようにする。						
授業の方法	講義形式とグループワークなどの参加型形式						
学習成果	L01	人間理解のための基礎的知識と理論を実践的に使うことができる。					
	L02	将来の介護職として他者とのかわりの中で他者の心情に配慮した対応をすることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	授業参加態度とレポートは、実施後に各自にフィードバックする。試験は実施後に模範解答を示す。						
教科書/参考図書	教科書:こころとからだのしくみ(介護福祉士養成講座テキスト 11)						
履修上の留意点やルール等	●グループワークに積極的に取り組むこと。●課題を期日までに提出すること。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:臨床心理士 職歴 30 年、公認心理士 職歴 5 年) 心理師としての多様な経験を、心理学の基礎理論の説明、グループワーク等の時に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、グループワークに積極的に参加し、意見を述べる、他の参加者の意見を引き出す働きかけをするなどが十分に行われていること。	10	10		
レポート/作品	授業後の振り返りのため実施する。S 評価は、授業の目的と把握し、授業内容に沿った内容構成であり、学びを論理的に記述していること。	25	25		
発表					
小テスト					
試験	正誤問題及び説明問題を実施する。S 評価は得点率 9 割以上。	15	15		
その他					
合計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、自己紹介文作成と発表、こころのしくみの理解について
	事前・事後学習	自分の対人認知の傾向を考える
2	授業内容	人間の欲求
	事前・事後学習	授業内容を復習する
3	授業内容	グループワーク①自己理解・他者理解
	事前・事後学習	グループ活動実施後の課題レポートを作成する
4	授業内容	自己実現と尊厳
	事前・事後学習	授業内容を復習する
5	授業内容	グループワーク②集団における個人の行動
	事前・事後学習	グループ活動実施後の課題レポートを作成する
6	授業内容	「こころ」とは何か 脳のしくみ 認知のしくみ
	事前・事後学習	授業内容を復習する
7	授業内容	グループワーク③新規場面での行動と慣れ(実験)
	事前・事後学習	グループ活動実施後の課題レポートを作成する
8	授業内容	学習・記憶・思考のしくみ
	事前・事後学習	授業内容を復習する
9	授業内容	グループワーク④さまざまな自己表現(アートセラピー)
	事前・事後学習	表現する体験をレポートにまとめる
10	授業内容	感情・情動のしくみ
	事前・事後学習	授業内容を復習する
11	授業内容	グループ活動⑤集団における問題解決
	事前・事後学習	グループ活動実施後の課題レポートを作成する
12	授業内容	意欲・動機づけのしくみ
	事前・事後学習	授業内容を復習する
13	授業内容	グループワーク⑥ストレスマネジメント
	事前・事後学習	グループ活動実施後の課題レポートを作成する
14	授業内容	適応のしくみ
	事前・事後学習	授業内容を復習する
15	授業内容	高齢期の心理
	事前・事後学習	授業内容を復習する